禁断の性教育授業の思い出 ～クラス全員の前で全裸になっておっぱい・ちんちん・まんこを晒された僕たち私たち～

小学校6年生の二学期の時の話。性教育の授業が始まった。

「今日は特別な授業です。まず、このビデオを見てください。思春期の体の変化について、ちゃんと理解しましょう」

プロジェクターから流れたビデオは、第二次性徴の説明だった。男子の声変わり、陰毛の生え方、勃

起の仕組み。女子のおっぱいの成長、月経の始まり。みんな静かに見ていたけど、隣の席の子が膝を小刻みに揺らしていたり、誰かが咳払いをしたりして、落ち着かない様子が伝わってきた。ビデオが終わると、先生が深呼吸をして言った。

「ビデオだけじゃ、頭ではわかっても実感が湧かないよね。だから今日は、実際に身体を見て、学ぶことにしましょう。くじで選ばれた男子３人、女子３人が教壇の前に出て、順番に裸になってもらいます。恥ずかしい気持ちはわかりま

す。でも、これは大切な授業。ちゃんと向き合ってください」

くじ引きは透明なプラスチックの箱。先生が一人ずつ名前を読み上げた。

「男子……まず、拓也くん」

拓也が「え、マジで？」と小さくつぶやきながら立ち上がった。教室から小さなざわめき。

「次、健太くん」

健太は顔を真っ赤にして「うわ、最悪……」と呟いた。

「最後、康平くん」

僕の名前が呼ばれた瞬間、心臓が喉まで跳ね上がった。足が震えて、立ち上がるのもやっとだった。

女子は、美咲、彩花、優奈。美咲は「私！？ やだー！」と両手で顔を覆った。彩花は無言で俯き、優奈だけが「まあ、しょうがないか……」と苦笑いしながら教壇に向かった。

６人が教壇の前に横一列に並ばされた。先生が「まずは上着と下を脱いで、下着姿になってください」と言った。

男子はシャツを脱ぎ、ズボンを脱いだ。パンツ一枚。寒さで鳥肌が

立った。女子はブラウスのボタンを一つずつ外し、スカートを下ろした。美咲は白いスポーツブラと同色のパンツ。彩花は淡いピンクのジュニアブラとレース付きのパンツ。優奈は白い普通のブラジャーと、少し大人っぽい形のショーツだった。

先生が女子たちに説明した。

「ブラの種類は、おっぱいの膨らみ具合で変わります。まだほとんど膨らんでいない子はキャミソールやスポーツブラ。少し膨らみ始めた子はジュニアブラ。はっきり丸みが出てきた子は普通のブラジャーです。今日はそれもちゃん

と見て、成長の個人差を理解しましょう」

美咲が「私、まだ全然だからスポーツブラなんです……」と小さな声で言った。彩花は「ちょっとだけ膨らんできたからジュニア……」と恥ずかしそうに。優奈は「私はもう普通のブラじゃないと入らないんです」と顔を真っ赤にして言う。

次に、上半身の下着を外す段階。

先生が「では、女子から。ゆっくりでいいから、ブラを外してください」と言った。